



海岸線の歴史

著者:松本 健一

古代、山中に海があった。
今、海岸線はテトラポッドで埋め立てられ、消失しつつある。――

異常に海岸線の長い、世界有数の国、日本。
その「海やまのあひだ」で、日本人はどのように生きてきたのか？
古代から現代までの海岸線の変化を追いながら、これからの「日本のあり方」も浮き彫りにする。

10年を超える構想期間と度重なる推敲を経てついに完成した、
ありそうで無かった視点で語る、瞠目の日本論。

日本のアイデンティティは、 「海岸線」にあり。

「海やまのあひだ」はどのような変化をしてきたのか？
「日本人の生きるかたち」を根底から問い直す、瞠目の書



●目次

- はじめに 海岸線は変わる
- 第一章 陸と海、神と人間が接する渚――古代から現代まで
- 第二章 山中に海があった――古代を中心に
- 第三章 海岸線に変化はなかったが――中世のころから
- 第四章 白砂青松の登場――江戸時代
- 第五章 『海国兵談』とナショナルな危機意識
- 第六章 「開国」と海岸線の大いなる変化
- 第七章 砂浜が消失する現代
- 第八章 海へのアイデンティティ
- 終章 海岸線を取り戻す――ナショナル・アイデンティティの再構築を求めて

●著者紹介:松本健一(まつもと・けんいち)

1946年群馬県生まれ。東京大学経済学部卒業。現在、麗澤大学教授。
評論・評論・小説など多方面で活躍。著書に『白旗伝説』『北一輝論』(以上、
講談社学術文庫)、『砂の文明・石の文明・泥の文明』(PHP新書)など多数。

判型:46判上製
定価:1,890円(税込)
頁数:259ページ
発刊:2009年5月2日

ISBN:978-4-903908-08-3
装丁デザイン:クラフトエヴィング商会

『海岸線の歴史』 著者:松本健一

注文欄	ご注文数	冊
-----	------	---

ミシマ社の本の仕入方法について(基本パターン)

- 直接取引(返品可) *詳細は別途、「取引覚書」をご用意しています。
- ①掛率 : 70%
- ②納品 : 宅配便で直送します(送料はミシマ社負担)。
- ③返品 : 随時入帳可能(送料は書店様負担)。
- ④精算 : 新刊などは3ヵ月後、補充などは当月請求。
返品は受領月の請求金額から控除、控除しきれなかった場合は、
次回の請求より相殺を原則とする。
- ⑤支払 : 月末締めでご請求、翌月末までのお支払い。手数料ミシマ社負担。
- 取次ルート(返品不可)
注文品のみ出荷、返品はできません。太洋社様経由で各取次へ搬入します。



【直取引メインです】

貴店名:

ご住所:

TEL:

FAX:

ご担当者:

様

通信欄